

## 自分の中の偏見に気づこう



11月4日(土)、松本サリン事件の被害者、河野義行<sup>こうのよしゆき</sup>さんを講師に、人権・同和問題研究集会在開催され、多くの聴衆が会場の気高町体育館に訪れました。平成6年6月に起こった「松本サリン事件」の第1通報者でありながら、警察はもとよりマスコミや社会から犯人扱いされ、心身ともに追い詰められていた時、「妻が生きていてくれたこと、子どもたちが自分を信じてくれていたこと、自分をみじんも疑わない友人が傍らにいたことで頑張ることができた」と当時を振り返り、先入観や風評、一部の情報だけで物事を判断することの危険性を切々と訴えられました。

## 用瀬地域

### 「火遊びは絶対にしません」

全国一斉に行われる「秋の火災予防週間」期間中の11月14日(火)、用瀬町内の3つの保育園で園児による防火パレードが実施されました。あいにくの雨で屋内でのパレードとなりましたが、法被を着た園児たちは、消防署員や地元消防団員、そして会場に集まったそれぞれの家族に「火遊びは絶対にしません」と防火の誓いをするなど、元気づく火災予防を訴えていました。



## 河原歴史民俗資料館

### 郷土が生んだ偉才、田中寒樓を語る会



11月4日(土)、河原歴史民俗資料館で、明治から大正にかけて活躍した俳・歌人の「田中寒樓を語る会」が開催されました。寒樓の軸物や色紙などが展示された会場で田中寒樓顕彰会の会員による解説や説明などが行われた後、テープに録音された寒樓の貴重な肉声が披露され、朴とつとした語りが集まった人たちの笑いを誘っていました。この日は第29回河原町文化祭も行われ、会場の河原町中央公民館には町内のみなさんの短歌、川柳の作品や陶芸、書、絵画などの展示もあり、シゲの文化の華と香りを感じる秋の一日となりました。

## 国府町中央公民館周辺

### 万葉のふる里こくふまつり

11月3日(金)、国府町中央公民館を主会場に「万葉のふる里こくふまつり」が開催されました。国府中学校吹奏楽部の演奏でスタートした祭りは、漫才師の海原しおり<sup>うなばら</sup>さんを迎えるの記念講演、商工会主催の大ピンゴ大会などが行われ、芸能発表会では町内各公民館で活動を行っているグループの熱のこもった演技に観客は大いに盛り上がりました。そのほか、殿ダム工場の資料展示や各種団体によるバザーなどもあり、約1300人がつめかけた会場はまつり気分一色でした。



## 弥生公園

### 緑豊かに生まれ変わりました



11月3日(金)、芝生を敷き詰めた緑豊かな公園として生まれ変わった弥生公園の開園式が行われました。式には、地元関係者や、企画立案に中心的役割を果たした同公園再整備基本計画ワーキンググループのメンバーが出席。テープカットを行って開園を祝いました。式が終わると、開園を待ち望んでいた親子連れが早速訪れ、青空の下、芝生の上でお弁当をひろげていました。今後は、芝生の維持管理などを地元住民のみなさんが行っていく市民協働型の公園として親しまれていくこととなります。